

2024 年度 千葉商科大学地域志向活動助成金 活動概要報告書

活 動 名 称	市川赤レンガの保存と活用を含めた「市川国府台」地域計画検討案作成プロジェクト
団体名・名前	市川赤レンガをいかす会 高木彬夫
活動目的	市川赤レンガをいかす会は、2010 年から市川市国府台に現存する明治期の煉瓦造建造物（市川赤レンガ）の保存と活用を求めて活動をしている。この活動の中で、市川赤レンガの保存・活用方法には、周辺地域も含めた広範囲な視点が必要と考えた。このことから、2023 年より、市川赤レンガの保存と活用を含めた「市川国府台」地域計画検討案を作成することを試みている。これは、市川赤レンガの保存と活用を中心に、国府台地域に残る歴史的な文脈（地形や歴史的建造物、伝承等）を地域の計画に捉え直し、持続的な賑わいある地域の創出を促すことを目的としたものである。また、市川国府台の歴史的な文脈に基づいた持続的な賑わいある地域づくりの実行プランを提案することで、地域住民や行政の本地域に対する関心を高めるとともに、国府台地域のサステナブルなまちづくりへの積極的な参加が期待できると考えられる。計画策定のためのワークショップ、図書館展覧会（出展確定済み）を学生と連携して実施し、学生の地域への理解が増すとともに都市計画・まちづくりについての専門性を高める機会となることも活動の狙いとした。また千葉商科大学だけでなく、和洋女子大学金指研究室との連携も行うことから、複数の国府台地域の教育機関のネットワークができ、大学間の学生交流や市民との交流から、学生にとってより広い実社会に触れる機会を提供することも本プロジェクトの目的とした。
千葉商科大学及び他大学教員、学生との具体的な連携内容	千葉商科大学政策情報学部榎戸教授並びに榎戸ゼミ生、和洋女子大学金指助教並びに金指ゼミ生と、活用アイデアワークショップを実施した。さらに、令和3年度より継続的に連携をしながら展示をしている市川駅南口図書館の展覧会についても、同活動の成果を中心として連携しながら実施をした。
活動の実績	年間の活動実績は以下の通り。 5月～7月 令和元年から令和3年に至るまでの市川赤レンガに関する提案のまとめと再検討1等 8月 市川赤レンガ活用アイデアワークショップと図書館展示の準備1 9月 市川赤レンガ活用アイデアワークショップと図書館展示の準備2 10月 市川赤レンガ活用アイデアワークショップ開催 11月 図書館展示 12月 市川赤レンガに関する提案を含めた「市川国府台」地域計画検討報告書作成及び2月助成金発表会に向けての準備1

	1 月 市川赤レンガに関する提案を含めた「市川国府台」地域計画検討報告書作成及び2月助成金発表会に向けての準備 2 2 月 助成金発表会 3 月 実績報告書作成等 今年度は、昨年実施できなかった活用検討のワークショップを実施することができた。昨年度実施した地域計画の核となる赤レンガ建物の周辺地域である国府台にどのような指定、未指定の文化財があるのかを主にワークショップ、オンライン MT、図書館展示などを中心に調査とともに報告書の作成となる材料の準備をすることができた。 アイデアワークショップでは、榎戸教授や金指助教から多くのアドバイスを受け、より良い企画を提案することができ、ゼミ生とともに実施することができた。またその成果について図書館展覧会を通して市民に公開できたことも大きな成果である。 以下、今年度の成果のまとめとして、図書館展示パネルのデータ等を掲載する。
--	--

赤レンガから展望する国府台のまちづくり 2nd

～みんなで紡ぐ「国府台物語」～

《ご挨拶》

今年で5回目の図書館展示。今回は、昨年の第2弾としての展示内容となります。

赤レンガユース部は、昨年に引き続き 2024 年度千葉商科大学地域志向活動助成金の採択を受け、「市川赤レンガの保存と活用を含めた「市川国府台」地域計画検討案作成プロジェクト」を実施しています。これは国府台に残る歴史的遺産〈時代や建造物に縛られない、広域的な遺産〉を採集し、それらを利活用した賑わいのあるまちづくりの計画を提案するものです。昨年は、「どのような文化遺産が残っているのか」という視点を元に調査に重点を置きました。今年度は、「市川赤レンガを含めた国府台エリアをどのように活用、保存していくのか」という観点で事業を実施しています。

ユース部では、2021 年に市川赤レンガを中心に据えた活用提案を3つ、さらに2022 年に広域的な提案を1つ、合わせて4つの提案をしています。しかし、これらは市民の皆さんと考えたものではありません。そこで、今回私たちは、**市川赤レンガ活用アイデアワークショップ**と題してワークショップを行いました。今回はその成果を中心に展示します。また今年度も実施できた**市川赤レンガの調査**についても。

そして、昨年に引き続き、本展覧会は**千葉商科大学政策情報学部の榎戸ゼミ及び和洋女子大学金指ゼミとの共同プロジェクト**です。展覧会ポスターは昨年に引き続き千葉商科大学政策情報学部吉羽ゼミが制作しました。国府台の学園都市ならではの広域的取組となっています。さらに今年も、**まちかど近現代写真の写真展 ～ 全国の郵便局建築 ～**を同時開催いたします。

今年度も盛りだくさんの内容ですが、どうぞ皆さんお楽しみください。 ＼お気軽にご連絡を！／



市川赤レンガをいかす会を応援、参加し
てくださる方、大募集中！
インスタ等 SNS（右 QR コード）より
ダイレクトメッセージ又はメール
(redbrick.ichikawa@gmail.com) まで
ご連絡ください！



市川赤レンガの活用提案について

赤レンガユース部では、2021年に市川赤レンガを中心に据えた活用提案を、さらに2022年に広域的な提案をしています。(過去の提案例の一部を以下、簡単にご紹介します)

しかし、これらは市民の皆さんと考えたものではなく、今回改めて「市川赤レンガ活用アイデアワークショップ」と題してワークショップを行い皆さんの自由な意見を聞いて、私たちが作るまちづくりの計画「市川赤レンガの保存と活用を含めた「市川国府台」地域計画検討案作成プロジェクト」に盛り込みたいと考えています。

過去の提案例

①赤レンガの活用



赤レンガ・市川の歴史展示+アートギャラリー

赤レンガの歴史や市川の歴史を展示するスペースとギャラリーとして大空間を活用する。赤レンガの特徴であるトラス構造を主要なデザイン要素として捉え、補強しながらも既存部分は残す。

市川赤レンガの歴史、市川の歴史を伝えるギャラリーの他、芸術のまちである市川市ゆかりの作者やテーマのアート作品も展示できる空間とする。

①まちのアトリエ



住み込みのアトリエとして旧血清研究所の建物を活用。また、敷地全体で美術や音楽活動が自由にでき、作品を展示したり発表したりすることで、芸術を育て、アートに巡り合う場所を目指す提案。赤レンガ建物と江戸川を結ぶデッキには、「まちライブラリー」を設け、読書やマーケット空間として利用し、賑わいを創出する。

②子どもと大人の活動を繋ぐ赤レンガスクエア



現存する旧血清研究所の建物を市民の活動スペースと子供達の遊び場に整備し、子供の遊びと大人の暮らしが交差する空間「赤レンガスクエア」をデザインする提案。「赤レンガスクエア」の奥には、シンボルとして赤レンガ建物が保存され、歴史も未来へ受け継がれていく。

③文化と人を繋ぐ創作空間 赤レンガ村



旧血清研究所の建物跡地にレンガ工房を設け、そこで生産したレンガを用いて、実際に赤レンガ建物を作って泊まるという、これまでにない新しい体験型空間の提案。そして、市民が創出した赤レンガ村を拠点に新たな人の繋がりが生まれ、「赤レンガ村」を取り巻く人々の活動と共に、赤レンガ建物の歴史も人々に継承されていく。

10月20日開催「市川赤レンガ活用アイデアワークショップ」

千葉商科大学にて「市川赤レンガ活用アイデアワークショップ」を開催しました。

当日は30名ほどの市民の皆さん等に参加していただきました。千葉商科大学や和洋女子大の学生もお手伝いとワークショップに参加。また当日は、プロのグラフィックレコーダーである野際里枝さんによるグラフィックレコーディングを用いて、ブレインストーミングを行いました。

次の頁からはその成果です。

(右写真は当日の様子。コーヒーやお菓子なども楽しみつつ、参加者の皆さんでワイワイアイデアを出し合いました)



市川赤レンガ活用 アイデアワークショップ

2024.10.20(日) 14:00~17:00



市川赤レンガをいかす会

高木さん



1日3日は「赤レンガ」と書いて...
1100回×15年=2万...

2010年の夏...

赤レンガの建物を
どうしたらよいでしょう...

ボート部?

ちっぽけだけど
濃い歴史がある!!

戦争

ア・チ
テ・ゼ

平和

"こわすこと" "文化をつくること"

自由な発想、意見で
考えてほしい!!

みんなと言ったらダメかな...と
思わずに

今日は、
実験的
ワークショップ



みんなと一緒に。
全員はなす。
バカバカしいと
思うことでも。
否定せず。のりのりぞ。

2018年から参加

千葉商科大学

榎戸さん

大学間×市民間

今後は産業間も

自分の話したいこと

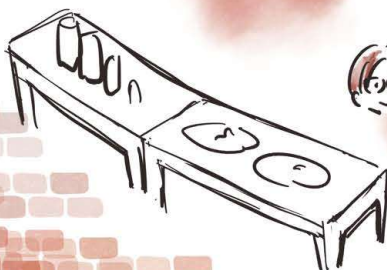
十他の人のアイデアを

ひきづり出すイメージで



6グループで3つのテーマ /

ドリンク
お菓子

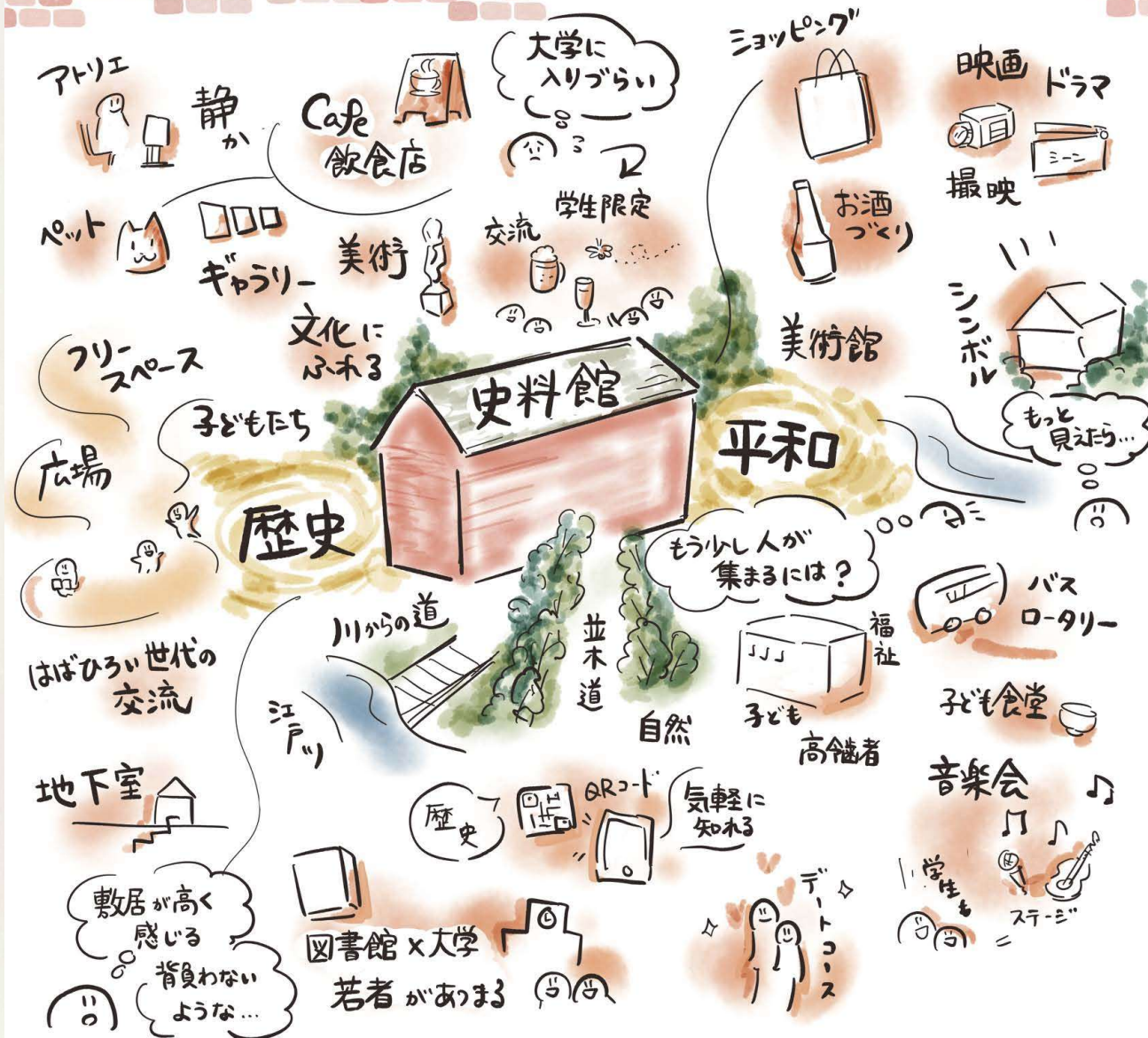


ワークショップではまず市川赤レンガと赤レンガをいかす会の活動、今まで提案した活用案について簡単にお話しました。

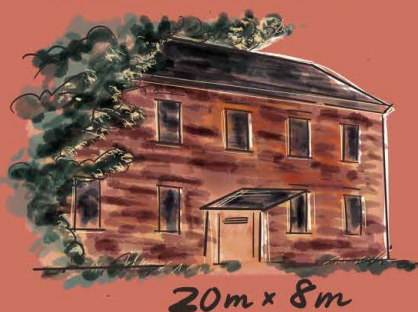
そして、グループに分かれた後、ワークショップでは、3つのテーマについて、話し合いました。

- (1) 市川赤レンガ建物をどう活用するか?
- (2) 市川赤レンガ建物の周辺をどう整備していくか?
- (3) テーマ(1)(2)を実現させるために、どのような仕組みづくりをするか?

市川赤レンガ建物を どう活用するか。



市川赤レンガとは？



まず、はじめに市川赤レンガ建物をどう活用していくかについて。

市川赤レンガやまた軍都としての歴史が分かるような、歴史と平和の史料館といった案が大半を占めました。その他にも、ギャラリーやカフェ、音楽が楽しめる場なども出ました。面白い意見として、お酒造りの場やデートコースに整備できないか等もありました。他にもイラストの通り、面白いさまざまな視点の意見がたくさんでした。

何か目玉に
なるものが
あるといいな



国立大学校



軍都 から
文教地区へ

ワクチンの
保存冷蔵庫

血清研閉鎖
具の管理下

平成14年

現在の赤レンガ建物が外部から見えにくいことを捉えた意見がたくさんでした。中でも、樹木の整備する、道を明るくするなど来やすいように、また見えやすいように整備して、人々を呼び込もうとする案が多く出ました。ドッグランやお花見ができる広場にして、賑わいを創出するといったものもありました。中には、研究棟をペットホテルや学童、高齢者施設にして利活用するといった意見もあり、多岐にわたるアイデアが出されました。

①②を実現するために どのような仕組みづくりをする？



ワークショップではまず市川赤レンガと赤レンガをいかす会の活動、今まで提案した活用案について簡単にお話しました。

そして、グループに分かれた後、ワークショップでは、3つのテーマについて、話し合いました。

- (1) 市川赤レンガ建物をどう活用するか？
- (2) 市川赤レンガ建物の周辺をどう整備していくか？
- (3) テーマ(1)(2)を実現させるために、どのような仕組みづくりをするか？

市川赤レンガ建物調査報告 - 第2回追加調査を実施しました -

2024年7月16日10時～17時にかけて、市川赤レンガ建物（旧陸軍教導団武器庫）の第2回追加調査を実施しました。市川に所縁ある建築家やヘリテージマネージャー等の建築の専門家による指導の下、総勢20名のボランティアが参加しました。また、千葉商科大学榎戸ゼミによる Matterport 撮影（3D 撮影）、和洋女子大学金指ゼミによる詳細実測なども行われました。このパネルでは、追加調査で確認できたことを中心にご報告します。

調査の概要

◆第1回建物調査（2023年10月13日実施）

- ・建物全般にわたる実測調査を実施。
- ・1階西側入口廻りの調査が途中で終了し、追加調査が要望された。

◆第2回建物調査（2024年7月16日実施）

- ・第1回調査の追加調査として実施。
- ・1階入口廻りと、2階の詳細調査を実施。（写真 2階内部1、2、1階入口など）



調査の結果

① 2階の窓・レンガ壁の詳細寸法と間隔

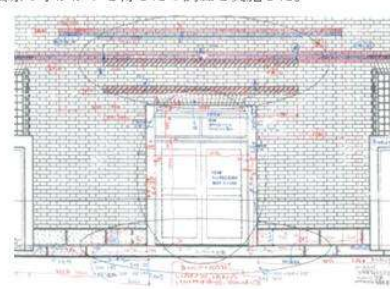
2階の窓とレンガ壁の詳細寸法を実測した結果、尺寸により計画され、窓の幅は半間（0.9m）で2間（3.6m）ごとに設置されていることが確認された。



調査野帳（2階平面図）

④ 1階入口廻りにおけるレンガ壁詳細

入口部分には大きな庇があったと考えられ、庇取り付け部と想定される場所にレンガに欠き込みが残っており、復原の手がかりを得るため調査を実施した。



調査野帳（1階西側平面図）

② レンガの段数と高さ寸法

レンガ4段で9寸（27.2cm）という、当時の標準的な積み方であることが確認された。



レンガのモジュール実測
（4段9寸、8段18寸）

⑤ 1階入口廻りにおけるレンガ壁詳細

内壁には壁レンガが当初のまま露出した部分があり、レンガの欠き込みにより、1階床板が張られていた位置が確定できた。



レンガ欠き込みの様子

③ 小屋組のスタイル

小屋組はキングポストトラスという洋風小屋組で間隔は1間（1.8m）ごとに設けられていることを確認された。使われた小屋組の部材は寸法が大きく、和風小屋組の影響がうかがえる。また、真東（キングポスト）から棟木を支える方杖があり、富岡製糸場などに見られる工法と同じであるため、明治初期のフランス系技術の影響があったことをうかがわせる。



King Post Trussの断面

さいごに

本調査によって記録された野帳（寸法等が書かれたメモ）を基に、市川赤レンガ（旧陸軍教導団武器庫）の復元図面（次パネル）が、より正確にブラッシュアップされました。復元図面の考察によって今後、当時の構造や施工寸法、建物の成り立ちや背景等の新たな発見が期待されます。通常は安全面の観点から立入禁止エリアとなっていますが、本物を目の前にして、得られる情報や印象というのは、何ごとにも代え難いものです。この度は、千葉県健康福祉政策課様のご協力の下、追加調査の実現が叶いました。ご協力いただいた関係者の皆様、誠にありがとうございました。



現況 梁間方向矩計図 ・ 平面詳細図

展覧会チラシ



同時開催

赤レンガから展望する国府台のまちづくり2

～みんなで紡ぐ「国府台物語」～

ワークショップのグラフィック
レコーディングの成果も速報

まちかどの近代建築写真展

～全国の郵便局建築～



本展覧会は昨年 2023 年の展覧会の第2弾となります。
市川国府台の歴史は、古い時代から今日まで積み重なっており、私たちは、その国府台に残る歴史的な遺産を用いて、賑わいのあるまちづくりの計画を考えています。今年度は、昨年度に引き続き調査もしていますが、その中心的存在の市川赤レンガとその周辺について活用提案をまとめるため、ワークショップも行いました。本展覧会は、その速報的な成果を皆さんにお伝えするものです。
また、毎年恒例の「まちかどの近代建築写真展」では、全国の郵便局建築の写真をご覧いただけます。
是非、展覧会と写真展をお楽しみください！

令和6年11月1日[金]
—11月28日[木]

開館時間…

[火～金] 9時30分～21時 [土・日・祝] 9時30分～18時

開催期間中の休館日 11月5日、11日、18日、25日

会場…

市川市市川駅南口図書館 えきなんギャラリー
I-link タウンいちかわ ザタワーズ ウェスト3階

統括：赤レンガをいかす会

企画・制作：赤レンガをいかす会ユース部 千葉商科大学政策情報学部 櫻戸ゼミ
和洋女子大学家政学部 金指ゼミ まちかどの近代建築写真展実行委員会
千葉商科大学政策情報学部 吉羽ゼミ（ポスターデザイン）

「市川国府台赤レンガパネル展 ～陸軍跡地に残る明治時代の赤レンガ建築の調査から～」も開催中

期 間…令和6年 10月21日 [月]～11月14日 [木] 会 場…和洋女子大学 文化資料館

開館日・時間…月～土：10時～16時30分

※11/3（日祝）は学園祭のため開館（第65回里見祭11/2～11/3）、10/31～11/1・11/4～11/5は休館



お問い合わせ

市川市市川駅南口図書館 TEL.047 -325 -6241

〒272-0033 市川市市川南1丁目10番1号（I-link タウンいちかわザタワーズウェスト3階）

市川市市川駅南口図書館 指定管理者
株式会社 ヴィアックス